



尚 操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚 操 会

〒682-0925

鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内
0858(28)-1811

印刷 勝美印刷(株)
0858(35)-4411

会長挨拶

新時代「令和」をみなさまと共に



尚操会会長 藤井 幸博
(西高二十四回)

夏本番を迎えようとしております。尚操会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。尚操会の活動につきましては、平素より皆様のご理解ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

去る五月一日より「令和」の時代となりました。新時代「令和」の始まりは、十連休という大型連休となり、日本国内が歓喜に沸き世界各国からは元首の方々が来日され、明るいムードに包まれて始まったように思います。

「令和」は、万葉集のなかの『初春の令月(れいげつ)にして 気淑(きよ)く 風和(やわら)ぎ 梅は鏡前(きやうぜん)の粉(こな)を披(ひら)き 蘭は珮後(はいご)の香(かう)を薫(かお)らす』から引用されたのだそうです。

万葉集の中西進先生の訳によりまずと、「時あたかも新春の好き月(よきつき)、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉(おしろい)のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香の如きかおりをただよわせている」という意味とのおぼろげな私でさえ、香り高く麗らかな情景が目につかびます。

万葉集は最古の和歌集で、鳥取県ゆかりの大家持、山上憶良をはじめ、幅広い

い階層の人々が詠んだ歌が集められているそうです。なかには単身赴任の辛さ、中間管理職の悩みなどを詠んだ歌もあるそうで、現代の私たちにも通じる暮らしぶりを興味深く感じます。

一方、この歌が詠まれた当時、梅は中国から伝わってきたばかりで、日本ではまだ珍しかったようですが、長い年月を経て、日本の初春を象徴する花となりました。千三百年という年月を経てもあまり変わらないもの、変わったこと。「令和」は私たちが時代の流れのなかにあつて、先人の成し遂げたことを次の世代に繋ぐ役割があることを改めて思い起こさせてくれました。

さて、倉吉西高校が設立されたのは大正三年六月十六日、倉吉町立実科高等学校として誕生しました。大正初期から始まった母校の歴史は、昭和、平成、令和と四時代を経て百五年を迎えました。卒業生の皆様も、大正、昭和、平成の三時代を繋いで活躍していらっしゃいます。これまで同様、令和時代の生徒も充実した高校生活を送ることができるよう、みなさまと共に応援して参りたいと存じます。

末筆ではございますが、皆様の益々の活躍とご健康を祈念いたします。

花・水・木

「平成最後の同窓会」と題して、今年1月、卒業以来三十四年ぶりに初めて同窓会を開催いたしました。今も地元愛が強いのか、多くの級友が地元に住んでいることをあらためて確認でき、何かうれしく思ってしまったのは私だけでしょうか。日頃近くにいなくても会う機会がなく、良い機会だったと思います。

在学中は一言も会話がなかった「女性陣」も、今となればスムーズに会話が弾んでしまふことは、恥じらいもなくなった歳月の恩恵といったところででしょうか。

さて私は今、地元で小さな金融機関に勤めています。毎年新卒者が入社してまいります。出身校を聞くと中には「西高」と返答があります。親子のような年齢差でもやはり先輩後輩という関係を表に出し、後輩には期待を、先輩としては尊敬される振る舞いをしてしまふことはよくあることであります。今まで関係のない方でも「西高」というだけで、仲間意識を求めることは、西高の卒業生であったという「誇り」が自分のどこかにあるのでしょね。

卒業以来、今も仕事で使用しているものがあります。卒業記念品の「印鑑ケース」、そして創立七十周年記念品「日用字典」。やはりいつになっても「西高」が好きなものでしょね。



未来に向かって邁進していきたい

校長 稲毛 靖

平素から同窓生の皆様方には本校教育を支えてくださり、心から感謝申し上げます。

本校は現在1学年3クラスの体制が定着し、全校生徒の数は350人と小規模校になっていますが、生徒たちは活発に学校生活を送っています。「学校で誇れるものは何か」と聞かれたら、「生徒が輝いていることです!!」と、私は迷わず答えています。

6月下旬から7月上旬にかけて毎年西高祭を開催しておりますが、生徒は全エネルギーを投入して準備を行いました。今年度はテーマを「Intensity」に設定し、名実ともに西高生の無限の可能性を追求していました。生徒のそれぞれが無限の可能性を秘めており、どこまでできるのか挑戦しようとする姿は周りの私たちをワクワクさせてくれます。今年度の実行委員会は先回の西高祭が終了してすぐに新旧実行委員長間で引継ぎを行って評価を明確にし、改善すべき課題を洗い出しました。最近では熱中症が話題になっていますが、

熱中症に向き合い、徹底した対策を講じたスケジュールを作成しました。生徒総会では、今年度の方針に対して生徒から様々な意見が出され、例年以上に白熱した議論を展開していました

が、西高祭への生徒の真剣な思いを感じる事ができ、また一つ成長したことを大変うれしく思いました。短い準備期間ではありますが、全校生徒が団結し力を併せて取り組んだお蔭で、第52回の西高祭も大成功に終わりました。

また、部活動においては弓道、自転車に加え、昨年度は新たに卓球部が全国大会に出場しました。弓道部は福井国体では男子遠的的で、女子は遠的で優勝し、全国選抜大会では女子団体が3位、個人戦が4位の成績を挙げました。また、自転車競技部では、全国選抜大会で女子が個人スクラッチ3位、ケイリン2位と活躍しています。また、野球部は夏の県大会で6年ぶりのベスト4となり、大きな反響を呼びました。この他にも文化部体育部の別なくチームや個人

を成長させようと頑張っています。輝いている生徒たちは、その輝きを更にまぶしい輝きに変えてくれるのではないかと思います。期待が大いに膨らみます。

生徒たちは皆様方から受け継



創立百周年から早五年

元校長・博士(工学) 田中(松本) 清治

いだ伝統を更に磨き、そしてそれを次の時代に引き継ごうとしています。このような成果や期待が生まれてくるのも、尚操会の皆様をはじめとする多くの方々にご支援いただいている賜

記念すべき創立百周年記念式典の時に校長をしておりますが、早いものでもう五年が経ちました。百周年ではいろいろなイベントが催され同窓生、在校生とも歴史の大切さ、そして偉大さを感じた年でした。百周年という大きな節目の時には、学校も大きく成長するといわれていますが、西高も大きく成長しました。伝統のある弓道部が前年に全国高校総体で個人男女アベック優勝、団体男子優勝、国体少年男子近的優勝、百周年の年には、団体で男女アベック優勝、個人女子準優勝、国体少年男子近的優勝と記録に残る活躍をしてくれました。弓道部に続けと自転車部も全国で活躍し、サッカー部、野球部、卓球

であると感じております。更に生徒が成長できますように未来に向かって邁進していきたいので、どうぞよろしくお願いたします。

し五年目となりました。今は、民生児童委員や区長(自治公民館長)など地域の一員として役割を果たしています。また、理科離れが叫ばれる今日、子ども達に理科の面白さを体感してもらおうと、毎年「中部こども科学まつり」を開催しています。昨年は鳥取短期大学で開催し、スタッフ・参加者合わせて約七百人が参加してくれました。ここでも西高生は、ボランティアとして活躍していて、毎年三十人から五十人が協力してくれ、中部の高校生の中では、最も多いボランティアです。学習や部活動に頑張るだけでなく、地域との係わりも大切にしてきています。

最後になりましたが、頑張っている西高生、そして西高を尚操会のみならず応援していきたいと思えます。よろしくお願いたします。

さて、私は西高を最後に退職

クラス会だより

昭和59年度卒業生同級会

▽とき 1月3日

▽ところ 倉吉シティホテル(倉吉市)

卒業して34年ぶりの同級会に66人が参加しました。恩師の岩垣先生、桑田先生、橋本先生、竹ノ内先生をお迎えして盛大な会となりました。発起人代表の平井君のあいさつに始まり、祝宴では同級生同士の夫婦が登壇して盛り上がり、50歳を過ぎたおじさん、おばさんが、仕事のことや家族のことなどを発表。みんな、今日までさまざまな人生を送ってきたことに改めて感動しました。最後は校歌を斉唱し、平成最後の同級会は大成功に終わりました。次回の開催を楽しみにしています。

記・吉田 孝宏



ウイーンの森の会

(西高6回生)

▽とき 2月11日

▽ところ 水明荘(湯梨浜町)

毎年2月11日(建国記念日)にウイーンの森の会の同級会を開催しています。出席者の多い年、少ない年もありますが、開催日が決まっていますので、心待ちにしておられる方も多く、20人近い方が集います。当日は近況報告をし、校歌は必ず毎年歌い、また他の歌も歌い、ゲームをして楽しく過ごし、あつと言う間に4時間が過ぎてしまいます。来年の幹事さんを決め、また来年も元気で会いしましょうと、握手握手で散会しました。

記・田中紀美恵



永田あおいプロ後援会

解散式

2006年卒業生のプロゴルファーの永田あおいです。

ご存知の方もいらっしゃると思

うのですけど、今年からプロゴルファー選手としての第一線から退く事を決めました。

鳥取出身のプロゴルファーは少なく私が活躍して地元を盛り上げたかったのですが、なかなか良い結果が報告できず残念に思っ

寄稿文

「令和に」

西高24回 山根 武士

(昭和51年度卒業生)

時は令和。平成は大災害等をはじめ激しい時代でした。錯覚かもしれませんが我が青春であった昭和50年前後のゆとりある穏やかな時代のようになってほしいのです。また、令和にはそんな願いがこめられていると思います。

ところで、私事ですが今春定年となり現在は行雲流水の日々です。この会報が公開される頃には終わっている月9ドラマ「ラジエーションハウス」で中心的職種である診療放射線技師(以後は放射線技師)を38年間勤めました。これまでの医療ドラマは医師と看護師が中心でした。しかし、医療

おります。

でも、悔いは全くありません。

今後は、選手経験を生かしてゴルフの発展、ジュニア育成に力を注いでいきたいと思っています。

選手生活11年、長い間応援ありがとうございました。

西高53回 永田 あおい



職種の歴史は医師が103年で別格ですが、看護師と放射線技師は68年で看護師とは同じですからやっとの主役です(職種認知度や業務内容の難解さや放射線への国民意識の差かな...)。ドラマは中規模病院で7名の放射線技師が現代医療の難しさの中で放射線科医師と共に葛藤していく姿がうまく表現されていると思います。主人公の放射線技師(本当は放射線科医師)が時に発する、良い医療画像がなくて治療ができない。は正に放射線技師の最も重要なプライドと言えます。私自身は放射線技師41名の大規模病院(鳥取大学病院)に居ましたので、このプライドに加えて、常に学術的視点を持つことも本分であり、環境が整っていることもあり、放射線医療技術の研究を行い、その成果の学会発表や、論文文化して学

位取得を目指す人が多くいました。また、大規模病院でしたのでドラマにはない核医学検査や放射線治療も行っていて中でも放射線治療はガン治療の3本柱の一つです(県内では5施設)。何やら、放射線技師のアピールのような内容となってしまうましたが、すばらしい職種ですし、私は長く携わったことを誇りに思っています。今も倉西高出身で放射線技師になっている人が何人かいますが、後輩たちが多く目指してくれれることを期待しています(私の居た職場にも1名在籍)。

最後に、新しい時代(令和)に母校が益々発展し、この尚操会の皆様と同期の藤井会長の益々のご活躍とご健勝、そして平和で希望ある明るい良き時代となることを祈念いたします。

こんにちははハレルヤ音楽部です

私たち「ハレルヤ音楽部」は、40年程前に西高生だったメンバーを中心に、会員12名・賛助会員6名、当時音楽の教鞭を執られていた河口節子先生、佐々木道也先生にも指導して頂きながら活動しています。

そんな私たちは、2014年西高創立100周年記念をきっかけに集まり、音楽を通して地域に貢献できる『素敵な大人』を目指しながら、三朝温泉夏祭りコンサートの出演や倉吉淀屋コンサートを共催、施設訪問などを行っています。そして今年、8月の尚操会総会にも参加することになりました。

学生時代には話した事のない人もありましたが、こうして何十年経っても集まって活動ができる同窓生って素晴らしいと思います。

毎月第1、第3土曜日、19時30分から21時30分までリフレプラザで練習をしています。気軽に遊びにお越しください。



ハレルヤ音楽部
会長 松本 尚司
(西高26回)

事務局より

作年度から尚操会総会に沢山の同窓生が集まってもらう取り組みの一つとして、卒業後10年、30年の同窓生の方々に幹事学年をお願いしています。今年（令和元年）は、平成2年（37回期）、平成22年（57回期）卒の学年に

お世話になります。総会以外でも同窓会、クラス会を開催されていることと思います。尚操会では同窓会、クラス会を開催されるに当たり、参加人数が10人以上であれば補助金を支給しています。また、ク

ラス会の様子を会報に掲載したく思いますので、写真や原稿を送っていただければ幸いです。詳しくは尚操会ホームページの「同窓会・クラス会について」をご覧ください。

令和元年度 尚操会総会案内

とき 令和元年8月18日（日）

ところ 倉吉シティホテル2F

総会 午後3時から

講演会 午後4時から

演題「ニコニコ弓道 ～日本一を目指して～」

講師 福光 善太（ふくみつ・ぜんた）さん

記念写真撮影／懇親会 午後5時から

会費 3,000円

講師紹介 福光 善太（ふくみつ・ぜんた）さん



■プロフィール

1993（平成5）年3月 倉吉西高等学校卒業（40回期）

本校勤務の福光善太さんは、2008年から、弓道部（男女）の指導者として生徒の指導にあたられ、2014年全国高校総体での男女団体優勝をはじめ、選抜大会など、数え切れないほどの優勝・入賞を果たしてこられました。

また、国民体育大会においても、鳥取県の少年男女の監督として優秀な成績を収められており、特に、2015年度和歌山国体においては、鳥取県弓道連盟の悲願であった競技別総合優勝（天皇杯）を獲得するなど、目覚ましい活躍をされておられます。

2017年には日頃のご尽力が評価され、青少年スポーツ活動の振興に功績のある若手指導者に贈られるエネルギースポーツ賞を受賞、その他にも鳥取県体育協会優秀指導者賞、鳥取県高体連優秀指導者賞など、数々の賞も受賞されております。

特筆すべきは、ほぼすべての選手が高校入学後に弓道を始め、競技歴が1～2年であるにもかかわらず、全国トップクラスの成績を何年間にもわたって継続されていることです。その指導力は、鳥取県弓道の競技力向上に大きく貢献されており、本校弓道部にとってかけがえのない存在であり、本校同窓生の誇りでもあります。

尚操会 ホームページ紹介

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会
<http://shosokai.info/index.html>

「倉吉西高同窓会」で **検索**



創立百周年記念誌 販売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、西高までご連絡ください。西高にて販売しております。

● 1冊 5,000円（振込手数料・送料が別途必要）

同窓会幹事様へ

同窓会を掲載したい！
 ご相談はこちらから

同窓会を開催しました！
 ご報告

関西支部のご紹介

新着情報

- 2019/4/24 尚操会総会の日程が決まりました。
- 2019/3/14 平成30年度尚操会入会式を2月28日体育館で行いました。
- 2019/3/11 女子プロバレーボールの永田あけいさんが幹事役での現役を引退されました。
- 2018/11/1 役員会・支部長・書記部長会合同会議を開催しました。
- 2018/10/26 役員会・支部長・書記部長会合同会議について
- 2018/7/20 2018年度会報を掲載しました。

イベントのお知らせ

尚操会 ゴルフコンペ

尚操会 クラウド・ゴルフ